

群馬県健康福祉部介護高齢課 施設長研修



「施設でのコロナ陽性者発生を経験して」

群馬県伊勢崎市

特別養護老人ホームゆたか

副施設長 島田 幸治

社会福祉法人 植竹会 (昭和55年4月～)

保育園(幼保連携型認定こども園)

- ・ゆたか保育園(定員135名)
- ・ゆたか第二保育園(定員50名)
(夜間保育園)
- ・ゆたか児童クラブ(定員40名)



ゆたか保育園

ゆたか第二保育園



高齢者施設

- ・特別養護老人ホームゆたか(従来型 定員50名)
(ユニット型地域密着型 定員20名)
- ・ゆたかショートステイ(従来型 定員42名)
- ・ゆたかデイサービス(定員40名/日)
- ・ケアハウスうえたけ(定員15名)
- ・ゆたか居宅介護支援事業所
- ・伊勢崎市地域包括支援センター一豊受

本館



新館



デイサービス

今回、新型コロナウイルス陽性者発生したのは、
ゆたか新館（従来型特養+併設ショート）（全22床）



当時の利用者は、特養9名、ショートステイ11名
（初回検査時は、ショート年始利用で退所された2名も含む）

最初の電話連絡（第一報）

令和3年1月3日（日）、市内他事業所のデイサービス管理者兼ケアマネジャーの方より

「当デイサービスのスタッフ1名が12/30に新型コロナウイルス陽性と判明しました
他利用者2名陽性、もう1名が検査結果待ちです」とのこと

当施設の新館をショート利用されたA様の経緯

- * 12/25(金)がデイサービス最終利用日
陽性となったスタッフがデイサービス勤務していた
- * 当施設のショートステイを12/26(土)～28(月)、12/30(水)～1/1(金)利用し帰宅
- * デイサービスからA様ご家族に連絡し、1/3時点では本人の発熱や体調不良なしとのこと

保健所の指導により1/11(月)までデイサービス休業
その時点で、保健所の指示を待っている状況とのこと
当施設利用されたA様は、現在濃厚接触者になっていないとのこと

施設内での感染対策実施中

(高齢者施設用新型コロナウイルス感染対策チェック表に基づく)
(利用者の体調確認、1ケア1消毒の実施、定期的換気、
施設内消毒等実施中)(特養、ショート受入れ中止)(主治医との頻回情報共有)

当初濃厚接触者でないと連絡受けていたA様だったが、
1/5(火)PCR検査受検し、6(水)16:35陽性判明とデイ
サービス管理者より連絡あり

時同じくして・・・

17:00当施設内発熱者B様(38.8℃)発生し、その後医療
機関受診し、抗原検査結果陽性の判明、入院となる

当施設での陽性者発生及び対応の経緯

- 1/6(水) ショート利用者B様発熱あり。配置医の指示にて医療機関受診、抗原検査で陽性判明、23時入院(陽性者1人目)
- 1/7(木) 伊勢崎保健福祉事務所、県介護高齢課、市介護保険課、県老協等に報告
民間検査機関のPCR検査を依頼し実施(自主検査)
(利用者10名、関係職員26名)
ホームページ上、陽性者発生の第一報掲示(各関係機関へも連絡)
- 1/8(金) 唾液採取難しい方は配置医が抗原(定性)検査実施(利用者12名)
前日の検査結果、ショート利用者C様陽性判明、入院(陽性者2人目)
県感染症対策チーム(C-MAT)訪問し、聞き取り、現場確認、実地指導実施
(行政検査のPCR検査を12(火)に予定となる)
- 1/10(日) 17:20特養利用者D様発熱あり、主治医にて医療機関搬送指示あるが
医療機関、コールセンター、保健所、県保健予防課の調整で、23時入院
入院時の簡易検査で陽性判明(陽性者3人目)
- 1/12(火) 9時特養利用者E様発熱あり、主治医指示にて救急搬送依頼、検査にて陽性
判明、入院。(陽性者4人目)
10時行政検査のPCR検査実施(利用者19名は主治医手技による鼻腔検体
採取、職員26名は唾液採取)

当施設での陽性者発生及び対応の経緯

- 1/14(木) ー昨日のPCR検査結果、ショート利用者F様、介護職員Gの陽性判明
(陽性者5、6人目) 利用者は入院、職員は自宅待機を経て、一般隔離施設へ移動、滞在
陽性者5人以上となりクラスター認定、県ホームページへ掲載
- 1/18(月) 民間検査機関へ再度依頼し、自主検査によるPCR検査実施
(今迄同様唾液と鼻腔検体)
- 1/19(火) 特養利用者H様陽性判明(陽性者7人目)保健所との調整の結果、翌日入院
となる
- 1/26(火) 民間検査機関へ再度依頼し、自主検査によるPCR検査実施
翌日結果、これ以降陽性者発生はなし

新規陽性者発生がない期間1/20～2/2(14日間)を経て、経過観察期間終了し、通常業務に戻った

今回の結果(陽性者):利用者6名(特養3名、ショート3名)、介護職員1名

入院された利用者のその後の経過

- 利用者B様、C様、E様は無事退院し、施設内でのサービス利用中
- 利用者D様、H様は入院中ご逝去
(H様は施設内で見取り対応中の方だった)
- 利用者F様は、新型コロナの治療は終了し、一般病床での治療中に逝去

今回の経験から・・・(改善点)

- 日常の感染対策として、マニュアルの徹底がどのレベルまでできていたか？職員の行動の具体的対応まで確認すべき
- 発生時のシュミレーションをしていたつもりであったが、最初の連絡を受けてからの初動がとれていなかった
(ゾーニングについて・・・従来型施設、感染者が認知症で行動範囲がリビング内広範囲だったため、リビング居室全体がレッドゾーン)
- 他事業所との連絡調整(年末年始の時期的なものも含めて)の重要性を再確認
- 常に感染の可能性を見越した早期対応
相談できる機関等も普段から作っておくこと

今回の対応で、管理者として心掛けたこと

- 毎日の利用者の状況（発熱、体調不良等変化）をこまめに確認し、頻繁に情報を関係者と共有し早期対応に繋がった
- PCR検査の回数を多くし、現状の感染者の可能性を確認した
- 対応する職員への配慮（体調管理、業務内外での様子確認、情報共有等頻回）（施設全体でバックアップする体制）
 - ※特に情報共有は、現在新館での発熱者や対応状況を職員一斉メールを使用し、タイムリーに全職員が把握できるように行った（新館職員の陽性者が増加の場合に本館職員の応援等入る際にもそれまでの経過が分かるため）
- 外部への情報提供（家族、関係機関、ホームページ）

ご清聴、ありがとうございました



ご意見、ご質問等ございましたら、下記までお願い致します

特別養護老人ホームゆたか

TEL 0270-20-3311 E-mail: u-yutaka@k8.dion.ne.jp